

Top Interview

高齢者、障害者にやさしく



富士レークホテル(富士河口湖町船津)は13年前から車椅子の人でも使いやすいトイレや室内温泉風呂などユニバーサルデザインを取り入れた客室の整備を進めていることが評価され、このほど県から表彰を受けた。今後の取り組みについて井出泰済社長(46)に聞いた。

ユニバーサルデザインは、高齢者や障害者を問わず、多くの人が利用できるのが特徴。館内のバリアフリー化も含め、約5億円を投じた。

ユニバーサルデザインは、高齢者や障害者を問わず、多くの人が利用できるのが特徴。館内のバリアフリー化も含め、約5億円を投じた。ユニバーサルデザインは、高齢者や障害者を問わず、多くの人が利用できるのが特徴。館内のバリアフリー化も含め、約5億円を投じた。

富士レークホテル 井出泰済 社長

客の7割が健常者

「介護施設への営業活動で団体客を確保するなどした。ユニバーサルデザイン対応の客室は2010年3月から1年で約1万人が利用し、前年比で700人増加。ただ稼働率は年間50%にとどまっております。集客や採算面で課題もある。注目されるのは利用者の7割が健常者で「快適な部屋に宿泊したい」と指定する客が多いこと。このため、稼働率アップに向け、担当者3人に増員。従来の高齢者や障害者に加え、新生児や乳幼児連れの家族客を対象にミルク用の温度調節ポットやベビーソープ・シャンプーンなどを用意した予約プランを始めたほか、富士山の世界遺産登録などを視野に訪日外国人観光客の誘致も進める方針だ。井出社長は「今後もユニバーサルデザインの可能性を追求し、新たなビジネスモデルを構築したい」と話している。

「介護施設への営業活動で団体客を確保するなどした。ユニバーサルデザイン対応の客室は2010年3月から1年で約1万人が利用し、前年比で700人増加。ただ稼働率は年間50%にとどまっております。集客や採算面で課題もある。注目されるのは利用者の7割が健常者で「快適な部屋に宿泊したい」と指定する客が多いこと。このため、稼働率アップに向け、担当者3人に増員。従来の高齢者や障害者に加え、新生児や乳幼児連れの家族客を対象にミルク用の温度調節ポットやベビーソープ・シャンプーンなどを用意した予約プランを始めたほか、富士山の世界遺産登録などを視野に訪日外国人観光客の誘致も進める方針だ。井出社長は「今後もユニバーサルデザインの可能性を追求し、新たなビジネスモデルを構築したい」と話している。

富士レークホテル 1982(昭和7)年創設、従業員120人、年商約9億円(2010年2月期決算)。

第42回テレビ山梨番組審議会

テレビ山梨の第412回番組審議会が2月20日、同社で行われ、三神弘委員長(作家)はじめ、堀内邦満(県公民館連絡協議会長)、川口和子(県社会教育放送研究会副会長)、七沢久子(七沢歯科医院長)、石山のづ美(帝京学園短大専任講師)、小河原正夫(自動車安全運転センター県事務所長、確井理史(確井自動車代表取締役社長)、谷川泰司(読売新聞甲府支局長)の各委員と、同社から金丸康信代表取締役社長、古屋光常取締役放送本部長、川村文彦常務取締役管理本部長、植松裕一報道制作局長、田中勝也報道部長が出席。1月30日から2月3日放送の「UTYニュースの星」

第236回エフエム富士番組審議会

エフエム富士の第236回番組審議会が2月24日、同社で開かれ、毎週日曜午前10時放送の「SUNDAY IN THE PARK(サンデー・イン・パーク)DJナラヨシタカ、にわかまきほ)について審議した。出席したのは林茂松委員